

笠山のお話 II 中央構造線のこと

日本一の大断層「中央構造線」についてはもうご存知のことと思います。この辺では豊川の谷に沿って走り、三河湾を横切って志摩半島に向かっていきます。断層活動の影響で、まわりの岩石が変化し、断層の北側には領家（りょうけ）変成帯、南側には三波川（さんぱがわ）変成帯ができました。これらは堆積岩起源と思われますが、三波川帯の中には御荷鉾（みかぼ）変成岩類という火山起源ではないかと思われる岩石のかたまりが点々と頭を出しています。よく碎石に使われている青黒い石がその仲間です。

笠山と姫島も同じ仲間です。岩は蛇紋岩に変化していますが、もとは地下深い所のマントルに成分の似たカンラン岩だったようです。

メモ

自然保護憲章

- ・自然をとうとび、自然を愛し、自然に親しもう。
- ・自然に学び、自然の調和をそこなわないようにしよう。
- ・美しい自然、大切な自然を永く子孫に伝えよう。

昭和49年6月5日制定

2007年 定例観察会 たはら 笠山の自然を見つめよう



3月29日撮影

左はヒロハタンポポ

(別名:トウカイタンポポ)

4月8日（第2回）

主催：  NPO法人 東三河自然観察会

後援：田原市・田原市教育委員会